

市民と事業者の意見交換会（ワークショップ）の結果概要

平成 28 年度調査の成果

地元消費の拡大および賑わいの創出に向けた今後の取り組みのポイント

①立地条件を踏まえた栗東市ならではの消費環境づくり

②人が集まる魅力的な場づくり、まちづくり

③消費者と事業者の相互理解の促進

④消費者にとって有益な情報の発信、共有

⑤事業所データベースの構築と域内調達拡大の実績づくり

市民および事業者を対象に、優先すべき施策について意見交換

平成 29 年度 市民と事業者の意見交換会の成果

H30～31 年度の優先的な取り組みの検討

【人が集まる魅力的な場づくり、まちづくり】

●集客イベントの企画・運営

・事業者や市民による集客イベントの企画・運営を促進する。市は公有施設の柔軟な利活用を認めたり、情報発信等を支援したりする。

●創業等への支援

【情報提供】：創業時の手続きや事業継続のために有効な取組について情報を提供する。

【助 成】：空き家や空き店舗をなくすために、これらを活用した事業開始時の改修工事など初期投資の一部を助成する。

【消費者と事業者の相互理解の促進および消費者にとって有益な情報の発信、共有】

●市内消費の拡大のための情報発信・共有の促進

・市内消費拡大に関する市民の意識づくりを進める。

・SNS等による情報発信の促進（子供連れで利用しやすい店舗の情報等）。

・栗東ならではの馬関連事業を実施し「馬のまち」として全国にPR、観光交流人口増加を図る。

・「うますぎる栗東」のように馬に関連付けて多様な魅力を情報発信する。

●魅力的な特産品の開発や特産品等を取り扱う店舗の増加

・独自の商品、サービス等の開発、提供を促進、支援する。

・手軽に地場野菜や特産品を購入できるように、これまで取り扱いのなかった店舗へと販売経路を拡大する。

・取扱いを行う店舗に関する情報を分かりやすく発信する。

・国際情報高校のネット通販サイト「しが国情まなびや」と連携する等ネット通販による市外への販売を強化する。

平成 30～31 年度施策展開の検討（案）

	商工振興ビジョンロードマップ 前半期				後半期
	平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度～
	前半	後半	前半	後半	
人が集まる魅力的な場づくり、まちづくり	●市民や学生、事業者がイベントの企画段階からの参画を促進 ・イベントの企画・準備段階から市民や学生、事業者が参画する機会を整え、市全体で盛り上げるイベントとする		関係機関等との調整	イベントで学生等の参画	イベントの企画段階から学生等の参画
	●公共空間の有効活用による賑わいの場づくり ・所管部署と連携し、公共空間の柔軟な利活用について検討、実施されるイベントへの支援		関係機関等との調整	イベントへの支援	
	●空き店舗活用への助成 ・栗東駅周辺および手原駅安養寺周辺における起業、空き店舗への助成制度創設（改修費等初期投資への助成） ⇒起業者向け支援 ⇒不動産オーナー向け支援		制度の検討	助成制度の運用	
	●情報提供 ・助成制度や空き店舗に関する情報発信⇒「AK I NA I しが」への登録の促進。登録物件の積極的な紹介など空き家対策と連携した取り組みの検討		事業者等への周知	取り組みの検討	関係機関等との調整 情報発信
消費者と事業者の相互理解の促進および消費者にとって有益な情報の発信、共有	●事業者の積極的な情報発信の促進・支援 ・事業者へのSNS等による積極的な情報発信支援 ・主管部署と連携し、りっとうミツケターへの積極的な参加の呼びかけ		関係機関等との調整	事業者等への支援の検討と周知	情報発信の活性化
	●特産品等を扱う店舗の充実と積極的な情報発信 ・りっとうブランド認証制度と連携した特産品等を扱う店舗の増加 ・特産品等の情報を積極的に発信		関係機関等との調整		市内での特産品の取扱いの店舗の追加 情報発信
	●魅力的な特産品の開発 ・特産品開発の企画段階から市民への積極的な情報発信や参画機会を用意し、市民の関心を高める ・主管部署と連携し、中長期的展望で馬にこだわるまちづくりを継続的に展開するとともに、馬に因んだ特産品を開発		所管部署による「馬」を活かしたまちづくりとの連携		

前半期ロードマップの評価・検証

前半期ロードマップの評価・検証の結果を踏まえ、必要な施策を効果的に実施